VLC Security
Press Release

2026 年 6 月 9 日

報道関係者各位

株式会社 VLC セキュリティ

AI マネジメントシステム(AIMS)「ISO42001 取得支援コンサルティングサービス」提供開始

～認証取得支援約 3,000 件の実績を誇る VLC セキュリティグループが着手から取得まで最短 8 ヶ月で支援～

VLC セキュリティグループの事業会社である株式会社 VLC セキュリティコンサルティング（東京都港区、代表取締役社長 加藤 忠行、以下「当社」）は、2026 年 6 月 9 日（火）に AI マネジメントシステムの国際規格「ISO/IEC 42001:2023（JIS Q 42001:2025）」の認証取得を支援するコンサルティングサービスの提供を開始いたします。

当社は約 20 年に渡り ISMS(ISO27001)取得・運用支援、プライバシマーク取得・運用支援において高い実績を有しています。本サービスでは認証支援において経験豊富なコンサルタントが準備・計画から認証取得まで 4 つのフェーズで一貫支援し、組織規模・AI 活用状況に応じた個別カスタマイズにより、最短 8～9 ヶ月での認証取得を目指します。

2023 年末に公開された ChatGPT を契機に、生成 AI の企業導入は日本国内でも急速に拡大しています。その一方で、AI のバイアス・誤判断・個人情報漏洩・ハルシネーションといったリスクが現実の問題として顕在化し、AI 利用に起因した企業の法的・レピュテーション上のリスクも増大しています。

こうした状況を受け、AI システムに関与するすべての企業――開発者・提供者・利用者を問わず――において、AI ガバナンス体制の可視化と第三者認証による信頼性の証明が課題となっています。

本サービスはそれらお客様の課題を AIMS 取得のための取り組みを通してサポートさせていただきます。

この取り組みを通して 3 年で 30 社 6,000 万円の受注を目指します。

また、本サービスの提供開始に伴い、ISO42001(AIMS)についての無償セミナーを開催予定です。（詳細以下）

【ISO42001 取得支援コンサルティングサービス概要】

準備・計画から認証取得まで 4 つのフェーズで一貫支援し、組織規模・AI 活用状況に応じた個別カスタマイズにより、最短 8～9 ヶ月での認証取得を目指します。

フェーズ	内容	期間目安
Phase 1：準備・計画	AI 利用状況の棚卸し・ギャップ分析・導入計画・体制構築	約 1 ヶ月
Phase 2：システム構築	AI ポリシー策定・プロセス設計・文書化・全社展開・教育訓練	約 3 ヶ月
Phase 3：運用・検証	試行運用・内部監査・是正改善	約 3 ヶ月
Phase 4：認証取得	認証機関選定・文書審査・現地審査・認証取得	約 2 ヶ月

着手から認証取得まで最短 8～9 ヶ月での完了を目標とし、組織規模・AI 活用状況に応じた個別カスタマイズを行います。

Press Release

【ISO42001 取得支援コンサルティングサービス提供の背景】

日本国内においては、経済産業省・デジタル庁を中心とした「AI 事業者ガイドライン」の策定（2024 年）、金融庁・総務省による業種別 AI 利用指針の整備が進んでいます。さらに 2025 年 8 月 20 日には、ISO/IEC 42001:2023 を翻訳した国内規格「JIS Q 42001:2025」が正式制定され、日本においても国際水準の AI マネジメントシステム（AIMS）の構築が標準実装のフェーズに入りました。

国際規制環境においても、欧州連合（EU）が 2024 年 8 月に「AI 法（EU AI Act）」を施行し、リスクベースの AI 規制を世界に先駆けて法制化しました。高リスク AI システムの開発・運用事業者には透明性確保・リスク管理・人間による監視の義務付けが求められており、EU 域内でビジネスを行う日本企業も対応を迫られています。米国でもホワイトハウスによる AI 行政命令（2023 年）、連邦取引委員会（FTC）による AI 利用監視が強化されており、「AI の安全・安心な利用」はもはや企業ガバナンスの中核課題の一つとなっています。

【ISO42001(AIMS)関連 無償セミナー】

セミナータイトル	第 4 次 AI ブームへの一手。AI を使い、AI を管理する時代へ ～ ISO 42001（AIMS）で組織のガバナンスを確立する ～
セミナー概要	AI ガバナンスを取り巻く最新動向や AI 活用に伴うリスクについて解説するとともに、ISO/IEC 42001（AIMS）の概要、導入・活用のポイント、認証取得のメリットについてわかりやすくご紹介します。 また、AI を活用する企業が実践すべきリスクマネジメントやインパクトアセスメントの考え方、組織に適した AI ガバナンス体制の構築方法についても解説します。
セミナー詳細	https://vlcsecurity.com/news/19415/
セミナー形態	Zoom ウェビナー
開催日時	2026 年 7 月 9 日(木) 16:00～17:00
お申し込み QR コード/URL	https://form.vlcsecurity.com/form/20260709Seminar?k3ad=pr

【参考　AI マネジメントシステム ISO42001 について】

ISO 42001 は、AI システムを開発・提供・利用するすべての組織を対象とした、世界初の AI マネジメントシステム（AIMS）に関する国際規格です。AI を安全・倫理的かつ透明性をもって運用するための仕組みを組織全体で構築・維持することを目的としており、単なる技術基準にとどまらず、AI に関するリスク評価・ポリシー策定・ライフサイクル管理・ステークホルダーへの情報開示まで、組織的なガバナンス体制の全体設計を規定しています。

全体設計における 9 のカテゴリとして、AI に関連する方針／内部組織／AI システムのためのリソース／影響評価／ライフサイクル管理／データ管理／ステークホルダーへの情報提供／AI システムの使用／第三者・顧客との関係）に基づき、組織固有のリスクに応じた管理策を選択・実施することが求められます。EU AI Act や NIST の AI RMF（リスク管理フレームワーク）との整合性も高く、グローバルな規制対応の基盤としても機能します。

【参考　AI マネジメントシステム ISO42001 の導入により期待される効果】

経営面：

- EU AI Act 等、各国 AI 規制への効率的な対応
- 投資家・顧客・ビジネスパートナーからの信頼性向上
- AI リスクに起因する事故・訴訟リスクの体系的軽減
- 「責任ある AI 企業」としてのブランド価値向上

運用面：

- 標準化されたプロセスによる開発・運用の効率化
- AI 関連知識・リスク知見の組織的蓄積
- 体系的な AI 人材育成プログラムの構築

Press Release

【VLC セキュリティグループについて】

VLC セキュリティグループは、「Go Beyond! Japan Cyber Security」のミッションのもと、世界最先端の知見と技術を取り入れた以下 3 つの事業を柱に、日本のサイバーセキュリティの革新を牽引し、社会と産業の発展を支えます。

【VLC セキュリティグループ事業会社】

株式会社 VLC セキュリティコンサルティング

業界スタンダードに基づくセキュリティ体制構築、ISMS や P マークを始めとした認証支援を行うコンサルティング事業

株式会社 VLC セキュリティアリーナ

サイバージム(CYBERGYM)ブランドで提供する、最新の攻撃手法をリアルタイムに反映した実践的で最先端のサイバーセキュリティトレーニング事業

株式会社 VLC セキュリティラボ

AI をはじめとする最先端技術の活用と高度な知識を持ったホワイトハッカーによる高度なセキュリティサービス事業

株式会社 VLC セキュリティ
事業内容：グループ各社を通じたトータルセキュリティソリューションの提供
本　　社：東京都港区虎ノ門 4-1-40　江戸見坂森ビル
代 表 者：代表取締役社長兼 CEO　石原 紀彦
WEB サイト: https://vlcsecurity.com/